

令和4年度第2回神戸市歯科口腔保健推進検討会 議事要旨

1. 日 時：令和4年11月16日（水）19:00～20:30
2. 場 所：中央区文化センター1階多目的ルーム（WEB併用）
3. 参加者：足立会長（現地）  
 （現地）：岩本委員、栗原委員、櫻井委員、末瀬委員、杉村委員、高橋委員、  
 田口委員、坪田委員、中谷委員、中田委員、宮本委員、百瀬委員、  
 山口委員、山本委員、前田委員代理（三代委員の代理）  
 （WEB）：高木委員、高見委員、武貞委員、谷池委員、西尾委員（50音順）
4. 内 容
  - 議題1 （仮称）「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第3次）」（案）について
  - 議題2 令和4年度歯科口腔保健推進関連会議等について
  - 報告1 令和4年度小学校フッ化物モデル事業の取り組み
  - 報告2 令和4年度オーラルフレイル対策について
  - 報告3 「歯科健康診査推進事業/歯周病予防に関する実証事業」モデル事業
  - 報告4 いい歯の日 歯科口腔保健啓発について

**1) 議題1（仮称）「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第3次）」（案）について**

事務局より資料1（仮称）「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第3次）案について  
 説明

事務局：市の行政計画の簡素化の方針により、ボリュームは凝縮するが内容はより充  
 実したものにしていきたい。

会長：今後5年間の計画をつくり上げていくため、専門家としての意見をしっかりと  
 議論していきたい。

**第1章 計画の基本**

意見なし

**第2章 神戸市の歯科口腔保健対策の重点項目**

会長：ここでいう「かかりつけ歯科医」とはどのような定義か。

事務局：「かかりつけ歯科医」についての意見は各自違うと思われる。「かかりつけ歯  
 科医」を持っているだけで歯科医院に行かない方もあるので、あえて定期的  
 に受診すると定義づけている。

委員：高齢期には歯周病の施策が必要ないのか？

事務局：妊娠期に特に健康意識が高まるので、パートナーや家族を核として受診勧奨  
 を強化しようと考えている。高齢期から歯周病対策を取りくむのでは遅いの  
 で、少しでも若い世代からの取り組みが必要であると考えている。

委員：妊娠期は、ライフステージの入り口として重要だと考える。最近の妊婦は働い  
 ている人も多いため、なかなか受診しにくい。間口を広げるためにも、産後も  
 受診期間に含める等を考えないと受診率は少なくなると思う。

委員：健康格差は経済格差など様々な要因があるが、何か取り組みができるのか考えているのか？自己責任論にしていないか？また、口腔だけを取り上げているが全身との関係を取り上げなくてもよいのか？

事務局：ご指摘のとおり、健康格差は歯の健康だけでなく健康への意識にも違いがあり、むし歯が多い区では喫煙率も高く結核も多い。

この第3次プランでは、誰もが健康になれるまち「健康創造都市K O B E」をめざしている。歯周病予防はセルフケアが必要なため難しいが、むし歯予防は科学的根拠があるフッ化物利用を推進して環境づくりをすることが可能である。

委員：2章の歯周病の後、フッ化物についてのコラムが唐突に出て違和感がある。

事務局：全体を見ながら配置を考える。

委員：2章の（1）中学生・高校生の歯肉炎の課題が、「歯や口の健康について関心が希薄であり、日常の口腔ケア等の実践が十分でない。」とあるが、その原因は関心が希薄であると言っているが、言い切るのはいかがか。

それだけではないと思う。口腔ケアの実践についても2極化しているように思う。

「学校健診」は「学校検診」であるように思うがいかがか。

事務局：中学生・高校生では、小学生に比べて保護者のかかわりが少なくなることもあり、子ども達の関心が必ずしも高くはないかと考える。表記については、確認して修正する。

### 第3章 ライフステージに着目した施策の展開

委員：学校健診では、全体的にむし歯は減っているが、2極化している。

神戸市内9区あり、むし歯の多い地域では家庭で予防を実践できない。その子どもたちを積み残さないようにするべきである。新潟県では、昔から小学校でのフッ化物洗口を行っている。その子どもたちを追跡した調査結果では、洗口をしていた子どもたちが、大人になってもむし歯予防の効果が持続していることがわかっている。

現在、神戸市内の小学校でフッ化物洗口のモデル事業をしているが、学校現場の多忙化や時間がないなど言われている。今後、どういう展開をしていくか詳しく示してほしい。

事務局：歯科医師会や歯科衛生士会、保健所、学校関係者の協力のもとに進めていきたい。

会長：最終版にはフッ化物洗口の展開を具体的に反映させる必要がある。

委員：フッ化物歯みがき剤の使用量「切った爪程度」という表現は、どういう量なのか。記載を初めて見て驚いた。

事務局：ガイドラインに明記されている。

委員：「たばこを吸わない」について、現在、吸っている人よりも、まだ吸っていない人に対して、歯科的な健康教育が必要である。中高生がたばこを吸い始めないよう防煙教育を学校の授業として取り入れるよう盛り込むべき。

事務局：防煙教育に力を入れている学校もあるかと思うが、全ての学校で実施できているわけではない。保健で学習する機会はある。

委員：たばこの歯周病の関係との書き方は、「たばこ歯周病との関係について知っている者の割合」のほうがわかりやすい。

事務局：修正する。

委員：ゆっくりよくかんで食べるについて、かむことが目標なのか、かめる食品を選ぶことなのかわかりづらい。認知症予防や口腔機能にも関係するので明確にした方がよい。「インプラントや歯周病治療にも影響がある」について治療のことなのか予後のことなのか、この表現では、わかりにくい。

事務局：修正する。

#### **第4章 分野別にみた施策の展開**

委員：こうべ市歯科センターと西市民病院との連携について、普通の病診連携ではなく、緊急時の後送病院であるので「患者急変時の対応」などはっきり明記してほしい。

事務局：検討したい。

会長：市内1か所で口腔がん検診を実施しているが、早期発見には至らず啓発活動と位置付けているのかと思う。本当に早期発見するためには、地域の歯科医師の先生方に協力頂いて拡げていけたらと思う。

委員：がん対策（口腔がん）については現在、行っている検診では発見につながっていない。地域の先生方にも協力をいただきながら見つけていきたい。

会長：「災害時の対策について」区で取り組んでおられることは？

委員：長田区では6年前より、三師会と長田区行政との協定を結ばせてもらい、コロナ前は、高齢者を対象とした市民フォーラムを開催していた。コロナの影響で市民フォーラムも開催出来ていないが、高齢者でなく、もう少し若い対象に向けて取り組もうと考えている。

会長：具体的に救護所を設置するタイミングなど記載するべき。

委員：SNSの啓発は、具体的にどのようなものなのか。

事務局：神戸市の公式Twitter、Facebookにて、4月によい歯の日の啓発、5月には神戸市歯科健診案内を発送した啓発、6月の歯と口の健康週間の発信を行った。

委員：地域包括ケアに向けた取り組みは、多職種連携の取り組みをすすめることについて具体的に記載が必要ではないか。

事務局：3年前に口腔機能に関する多職種連携専門部会を立ち上げ、具体的には訪問口腔ケア必要度チェック票を作成し、活用いただくようにすすめている。その内容について第3回検討会でお示したい。

#### **2) 議題2 令和4年度 歯科口腔保健推進関連会議等スケジュール（予定）について**

事務局より資料2について説明

市民意見を募集し、意見を募り反映させて、第3回歯科口腔保健推進検討会、懇話会に諮り、最終案を示していく予定。

#### **3) 報告1 令和4年度小学校フッ化物モデル事業の取り組みについて**

事務局より資料3について説明

委員：最終的に効果検証をする際は、他の学年と比較するのか。

事務局：実施人数が少ないので、効果検証は難しいが、単純に集団として比較することは可能である。まだ、1年経っていないので、もう少しお時間をいただきたい。

事務局：フッ化物塗布モデル事業では、塗布前に歯の大切さについて、歯科医師会の山本先生からイラスト等を用いて、わかりやすく説明をいただき学習をし、その後、歯科衛生士会が希望者の児童に塗布を行った。

実際に塗布をした児童に感想を聞いたら「何のためにフッ素塗布をしたかわかった」など自分の歯に興味をもってもらうことができた。フッ化物塗布では、歯科衛生士から緊張した子どもに寄り添った声かけをしていただいた。

委員：小学校でのフッ化物洗口・塗布のモデル事業は順調に進んでいると思う。

会長：社会経済的な格差をクリアする事業であると思うので、全市的に広がって欲しい。

#### **4) 報告2 令和4年度 オーラルフレイル対策について**

事務局より資料4について説明

市民向け啓発として、市政広報ポスターの作成と KOBE グーに記事を掲載。再勧奨ハガキの送付を予定。

令和5年度より75歳歯科健診はオーラルフレイルチェックと名称を変更する。事後フォローが行き届いていないので、フレイル通所改善サービスにつなげて出口対策を強化していければと考えている。

#### **5) 報告3 「歯科健康診査推進事業/歯周病予防に関する実証事業」実施報告について**

事務局より資料5について説明

骨太の方針2022が示され、厚生労働省のモデル事業に参加した。10月2日（日）公益社団法人兵庫県予防医学協会健診センターで特定健診を受診した113名のうち27名に対して、歯周病リスクを判定する簡易検査キットを配布した。自身で舌を拭き郵送する手法。既にかかりつけ歯科医がいる方が多いようであった。

会長：これから注目される事業なので今後も報告をお願いしたい。

#### **6) 報告4 いい歯の日 歯科口腔啓発について**

事務局より資料6について説明

事務局：いい歯の日に株式会社ロッテと連携しポスターを作成した。市内の歯科医院や薬局等に掲示していただいた。区役所にある「おやこふらっとひろば」にてライオン（歯科衛生研究所）、県歯科医師会等の協力のもと、歯科啓発グッズの配布をした。

事務局：第3次プランについて、足立会長、天野会長に一任してよいか。

委員一同：異議なし。